

Private Photos



自称：蕎麦ソムリエ



フィリピンでの語学研修

法人のYear End Party
グランドハイアット東京にて

PwC 税理士法人

〒100-6015 東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビル15階
Tel 03-5251-2400 <http://www.pwc.com/jp/tax/>

その後一般企業を経て、PwC 税理士法人に入社。PwCは業務内容ごとのチーム区分をしないので、海外展開をする日系企業に対して、基本的な税務申告業務と、税務コンサルティングの両方に携わっています。税務コンサルティングの中でも、M&A（企業の合併と買収）案件を多く担当しています。M&Aはスピードが要求されるので、企業やとりまく環

税理士になって良かったことは「仕事がとてもチャレンジングで

若い人にこそチャンスが多い
税務フィールド

なりませんか！

大規模なM&Aに
チームで挑む

立ち、税理士試験の税法も免除されることを考慮し、働きながら大学院に進学し租税条約を研究することになりました。大学院での2年間の体系的な研究経験は、リサーチ方法や考え方を身に付けるとても良い機会になりました。

境を効率よく分析し、最適な税務コストを導き出せるように戦略を練ります。10人以上のチームで取り組んだ大規模なM&Aが、経済紙の一面に載ることも。難しいプロジェクトでも、チームでクリアしていくことに面白さと同時にやりがいも実感できます。

ある」ことです。同じ時期に複数の企業から相談されるのは日常の出来事。企業毎に事情が異なる上に、扱う金額は億単位。そうした状況で、様々な税務リスクを分析し、最適なアドバイスをするのが税理士の仕事です。相談されるテーマのほとんどが難解ですが、その期待に応えてこそ税務のプロフェッショナルだと思います。とてもやりがいがある上に、お客様から感謝される最高の仕事です。

海外進出など企業活動はより複雑化してきています。税理士の仕事の幅も広がり、扱う案件数も増加の一途です。一方で税理士業界は高齢化が進み、これからを担う若い税理士は圧倒的に不足しています。若い人たちにとって、大きなチャンスがあるのが税務というフィールドです。皆さん、税理士

専門性に魅せられ
税理士を目指す

大学で学んだ「法人税法」が面白かったのが、税理士を目指したきっかけです。全ての企業が納税の義務を負っているのに、確かな

税務知識があるのは税理士だけだと聞きました。大学3年生の秋から勉強を始め、翌年「財務諸表論」に、大学卒業後、大手税理士法人で働きながら「簿記論」「法人税法」に合格しました。残りは選択科目2科目となった頃から、仕事が猛

烈に忙しくなっていました。当時担当していた国際税務では、法人税に加えて租税条約の知識がとても重要です。租税条約とは、国際貿易で国毎に異なる税法規定を調整するための国際間のルールのことです。そこで、実務にも役

お客様の期待に応えてこそプロフェッショナル

1カ月前の自分にも、
絶対負けない自信

PwC 税理士法人

事業法人部 マネージャー

玉木 寿典さん

明治大学
経営学部 会計学科卒筑波大学大学院
ビジネス科学研究科卒